

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 3 区分

【発行日】平成 27 年 10 月 29 日 (2015.10.29)

【公開番号】特開 2014-87864 (P2014-87864A)

【公開日】平成 26 年 5 月 15 日 (2014.5.15)

【年通号数】公開・登録公報 2014-025

【出願番号】特願 2012-238213 (P2012-238213)

【国際特許分類】

B 2 3 B 5/12 (2006.01)

【F I】

B 2 3 B 5/12

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 9 月 2 日 (2015.9.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

樹脂管 (20, 30) を保持する円筒形保持部 (3, 9, 3X, 3Y) と、
 該円筒形保持部 (3, 9, 3X, 3Y) の軸線 (Z) に対して垂直な平面 (2a) であり、前記樹脂管 (20, 30) の端面が当接する平面 (2a) を有する本体部 (2, 2X) と、
 該本体部 (2, 2X) に設置されて前記樹脂管 (20, 30) の前記端面を切削するブレード (1, 1X, 1Y) と、
 前記端面を切削して生じる切り粉を排出するための切り粉排出穴 (2c, 2Xc, 2Yc) であり、前記本体部 (2, 2X) の前記ブレード (1, 1X, 1Y) に隣接した位置に設けられている切り粉排出穴 (2c, 2Xc, 2Yc) と、
 を備えることを特徴とするスクレーパー (100, 200)。

【請求項 2】

前記樹脂管 (20, 30) は、第 1 樹脂管 (20) と第 2 樹脂管 (30) とから成り、
 前記円筒形保持部 (3, 9, 3X, 3Y) は、第 1 樹脂管 (20) を保持する第 1 保持部 (3, 3X) と、第 2 樹脂管 (30) を保持する第 2 保持部 (9, 3Y) とから成ることを特徴とする請求項 1 に記載のスクレーパー (100, 200)。

【請求項 3】

第 1 保持部 (3) は第 1 樹脂管 (20) の外側円筒面を保持し、
 第 2 保持部 (9) は第 2 樹脂管 (30) の内側円筒面を保持することを特徴とする請求項 2 に記載のスクレーパー (100)。

【請求項 4】

第 1 保持部 (3) は第 1 樹脂管 (20) の外側円筒面を保持し、
 第 2 保持部 (9) は第 2 樹脂管 (30) の外側円筒面を保持することを特徴とする請求項 2 に記載のスクレーパー (200)。

【請求項 5】

前記円筒形保持部 (3, 9, 3X, 3Y) と前記本体部 (2, 2X) が一体化されていることを特徴とする請求項 1 から 4 のいずれか 1 項に記載のスクレーパー (100, 200)。

【請求項 6】

前記スクレーパー（１００，２００）は手で回転させることができることを特徴とする請求項１から５のいずれか１項に記載のスクレーパー（１００，２００）。